

設定ツール（通常版）使用方法

はじめに

通常版を使用する場合には通常版設定ツールと通常版ファームウェアが書き込まれたREVIVE USB Type-Cが必要です
販売時には通常版のファームウェアが書き込み済みです。

ダウンロード

以下のダウンロードリンクを右クリックし、「名前をつけてリンク先を保存」を選択するとダウンロードされます。

- [通常版設定ツールダウンロードリンク](#)

ピンの割当などを行う設定ツールです。 本設定ツールはWindowsPCにて動作します。

- [通常版ファームウェアダウンロードリンク](#)

ファームウェアはハードウェアの中に書き込まれているソフトウェアです。

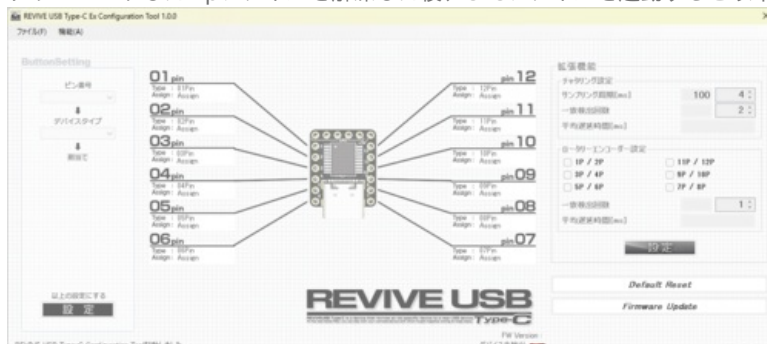
不具合修正や機能追加された新しいファームウェアが公開された際、ファームウェアをアップデートすることで新しい機能が使用できます。

設定ツール使用方法

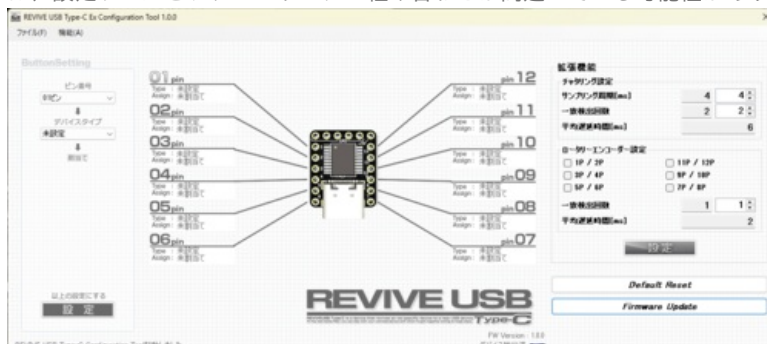
ここでは、REVIVE USB Type-Cのピン設定ツール、REVIVE USB Type-C Configuration Toolの使い方を説明します。

1. 設定ツールの起動

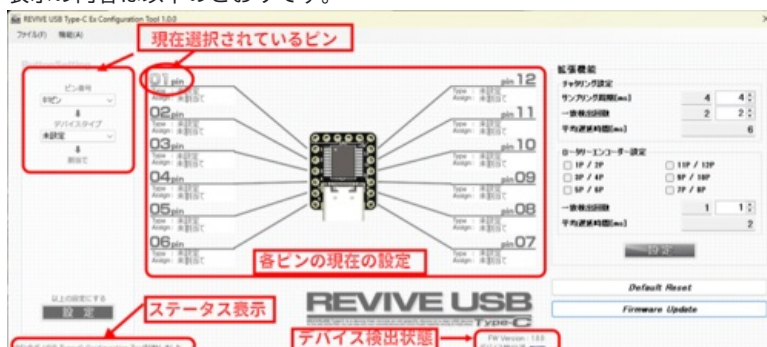
ダウンロードしたzipファイルを解凍した後、exeファイルを起動すると以下の設定画面が開きます。



REVIVE-USB-Microを接続すると、自動的にデバイスが認識され以下のような画面になります。 デバイスが認識されない場合は、設定ツールとファームウェアの組み合わせが間違っている可能性があります。 再度ご確認ください。



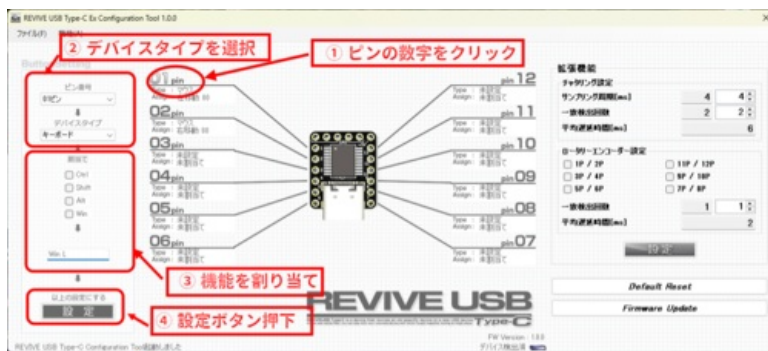
表示の内容は以下のとおりです。



2. 設定順序

設定は以下の順序で行います。

- ① 設定するピンの選択
- ② デバイスタイプの選択
- ③ 機能を割り当て
- ④ 設定ボタン押下



3. 設定方法

3.1 設定するピンの選択

設定するピンをクリックして選択します。

3.2 デバイスタイプの選択

設定するピンを選んだ後、デバイスタイプを選択します。

デバイスタイプの選択はコンボボックスから行ないます。

未設定／マウス／キーボード／ジョイパッドから選択可能です。

3.3 機能の割り当て

3.3.1 マウス

マウスは以下の機能を選択することが出来ます。

- 左クリック／右クリック
クリックに割り当てられたピンがONになると、マウスの左／右クリックが押された動作を行います。
- ホイールクリック
ホイールクリックに割り当てられたピンがONになると、マウスのホイール（真ん中ボタン）が押された動作を行います。
- 上移動／下移動／左移動／右移動
各移動に割り当てられたピンがONになると、マウスカーソルが設定した方向に移動します
マウスカーソルのスピードは「移動速度」で設定出来ます。デフォルトは50で、1～255の範囲で設定し、値が小さい程カーソル速度は遅く、値が大きいほどカーソル速度は早くなります。
- ホイール上／ホイール下
各ホイールに割り当てられたピンがONになると、マウスのホイールを上または下に回したのと同じ動作をします。
ホイールの速度は「移動速度」で設定出来ます。デフォルトは50で、1～255の範囲で設定し、値が小さいほど、ホイール速度は遅く、値が大きいほどホイール速度は早くなります。
- カーソル速度変更
カーソル速度変更に割り当てられたピンがONになると、上移動／下移動／左移動／右移動のカーソル速度がこのピンに設定された値に変更されます。
この変更は、このボタンが押されている間のみ、有効になります。
01ピンにカーソル左移動を移動速度50で、02ピンにカーソル速度変更を移動速度100で設定すると、01ピンだけを押した場合には左に速度50で、02ピンを押しながら01ピンを押した場合には速度が100になります。

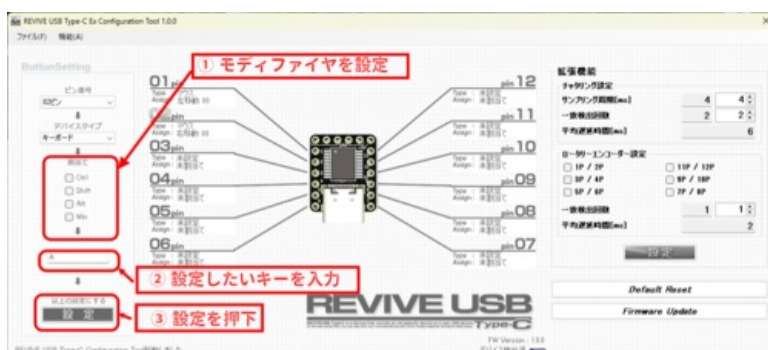
3.3.2 キーボード

テキストボックスに入力された文字を出力できます。

Ctrl／Shift／Alt／Winのチェックボックスにチェックを入れるとテキストボックスのキーと同時に入力出来ます。必要なモディファイア (Ctrl／Shift／Alt／Win) のチェックボックスにチェックを入れ、テキストボックスにキー入力し、設定を押下します。

割り当てられたピンがONになると、設定したキー押下の動作が割り当てられます。

例：テキストボックスに「Delキー」を入力し、[Ctrl]と[Alt]にチェックを入れ「設定」を押すと、CTRL + ALT + DELが入力できるようになります。



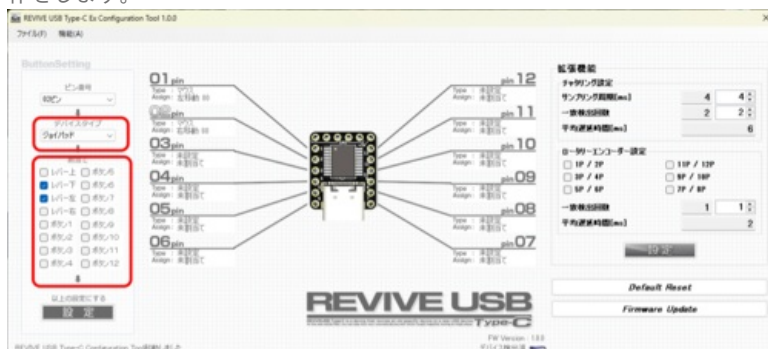
3.3.3 ジョイパッド

ジョイパッドは上下左右レバー、および最大12個のボタンがあるものを想定しています。

レバー上下左右／ボタン1～12の中から対応させたいピンをチェックします。

複数のチェックを入れた場合、全てが反応するようになります。

例えば、「ボタン1」と「ボタン3」にチェックを入れた場合、そのピンがONになると、「ボタン1／3」が同時におかれた動作をします。



3.4 拡張機能

拡張機能では、ロータリーエンコーダーとチャタリング防止の設定を行うことができます。

拡張機能表示がない場合は左上のメニューから「機能」「拡張機能」を選択してください。

3.4.1 ロータリーエンコーダー設定

拡張機能で、ロータリーエンコーダー読み取り機能の設定ができます。

読み取れるエンコーダはA/B2相タイプのものになります。

隣り合う2ピンを一つのエンコーダに割り当てることができます。



機能は回転方向ごとにそれぞれ割り当てられます。通常の機能設定と同様に設定してください。

ロータリー変コードからパルスが入力されるごとに、回転方向に応じて信号をPCに送出します。



回転方向と機能の割り当てを逆にした場合は以下のどちらかを行ってください。

- ツール上でペアのピンのそれぞれに割り当てた機能を逆にする
- エンコーダのA相/B相の結線を逆にする

3.4.2 チャタリング防止設定

拡張機能で、チャタリング防止のための複数時点検出機能の設定ができます。スイッチが一度ONになると、そのタイミングから「サンプリング周期[ms]」で設定した間隔ごとにスイッチの状態を確認します。連続で「一致検出回数」で設定した回数以上スイッチがONであることが確認できれば、そのピンに指定された信号をPCに送出します。

